

誠他道無

大島町立第一中学校
第3学年 学年通信 第30号
令和4年11月25日(金)発行

一中祭を終えて

3名の弁士は非常に素晴らしい発表をしてくれ、聞く人の心に訴えかける弁論となりました。3年間の積み重ねがあったからこそ、それぞれの着眼点でテーマに切れ込んだ中身の濃いものとなりました。その中でも「落とし物」を発表した猪股さんは最優秀賞に見事輝きました。おめでとうございます。

合唱では「虹」という難しい曲に挑戦しました。曲紹介を担当した幡野さんが、3年生のスローガンである「栞」に触れ、新たな1ページとする決意と後輩の道標となる歌にしたいという想いを語りました。舞台上で歌う3年生の凛とした姿、奏でるハーモニー、強弱や歌詞に込められたメッセージ性など、3年生の想いがたくさん詰まった合唱が会場に響き渡りました。3年間の集大成として満足のいく、そして聞く人に感動を与える合唱となりました。

午後からは部活動発表がありました。美術部のスライド発表は非常に完成度が高く、吹奏楽部の演奏は美しさだけでなく、楽しさも兼ねそろえた発表となりました。中学校での最後の一中祭となりましたが、本当に素晴らしい形で幕を下ろすことができた一中祭でした。

【キャリアパスポートより】 ※一部抜粋

- ・1日1日を大切にできたから、物事を大切に思う気持ちが成長した。
- ・今までなら適当に終わらせてしまっていたかもしれないけど、気持ちを込めて読むことができたし、頑張ることができた。
- ・入りや切れるところが不安だったが、本番では自信をもって歌うことができた。
- ・「虹」をみんなで練習の成果を発揮し、このクラスで歌えて本当に良かったと改めて感じた。



無駄な努力に見えても

23日(木)にW杯「日本対ドイツ」の試合が行われました。前評判では優勝経験もあり、FIFAランクも格上のドイツが勝つであろうという予想が大半でしたが、試合結果は2-1で日本が勝利しました。その前日も優勝候補であったアルゼンチンをアジア圏のサウジアラビアが下しました。大方の予想を覆す結果にメディアは大金星という形で報道しています。スポーツの世界ではしばしば見られる光景でもあります。実際に日本代表の見事な逆転劇での勝ち点3に興奮したことは事実です。

サッカーは90分で行うスポーツですが、一般的に言われるのが1試合で1人がボールに触れる時間は2分程度で、残りの88分はボールを持たない動きであるということです。ボールを持たない動きとは、簡単に言えばボールをもらうために走るということです。走れば必ずボールが来るわけではないので、一見すると無駄な動きのようにも思いますが、この無駄な動きが勝敗を決すると言っても過言ではありません。例えば、スペースに走ることでパスが来なくても相手を惑わせ、ボールを持っている味方を助けることにつながったり、事前に危険なスペースを埋めるために動いておくことでチームの危機を救うことにつながったりします。ボールを持っている人がクロージアップされますが、その裏にはいくつものチームプレーが存在しているのです。

さて、期末考査を直前に控え、かつ受験に向けて学習に勤しんでいる生徒の皆さん。自分がやっている学習に自信がもてなかったり、無駄なことをしているのではと不安に陥ったりすることはないでしょうか。一見すると無駄に思うことも、長い目で見た時には必要であったりもします。大切なことは今だけではなく、将来を見据えて地道な努力を重ねていくことです。その努力が受験では必要な力なのかもしれません。

来週の間割

	28(月)		29(火)		30(水)		1日(木)		2(金)	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
1校時	学活		学活		学活		社会		理科	
2校時	理科テスト		英語テスト		社会テスト		国語		社会	
3校時	数学テスト		美術テスト		国語テスト		体育		体育	
4校時	音楽テスト		技家テスト		保体テスト		数学		英語	
5校時					専門委員会		理科		数学	
6校時							英語		学活	

※28日(月)、29日(火)は期末考査のため、給食後に下校となります。

※30日(水)は専門委員会終了後にパンジーボランティアが予定されています。

参加生徒は体育着・ジャージが必要です。